ベ

年 を迎え

ばいいのか途方に暮 れる現況ではありま 番大切なことは何事 いうことであります。 すが、今私たちに一 いたのではだめだと 他人頼みで待って

か

民の皆々様には御健 済不況は次第に深刻 お喜び申し上げます。 勝にて初春を迎えら さを加えてまいりま れたことと、心から とうございます。 した。何をどうすれ さて、昨年来の経 村 いことは必然なことであります。 できない時代であると思います。 住民が団結する力以外に太力打ち の社会に生活することは、個々の きる、開発投資を図らねばならな になんとかとどまり得ることので も、現在の高度な経済社会の一角 今この小さな河辺村という集落

たない大伍保育所は補助を打ち切 年に三〇名生まれた年がないので あります。昨年より定数九名に満 の五ケ年に赤ちゃんの出生数は一 余名の減少をみております。最近 れ、五年前の調査数に比べて四百 辺村の人口は二三六八名と推定さ 先の国勢調査におきまして、河 かけております有線放送を新に無



明けましておめで

稲田三温

ります。 多すぎはしないかという心配であ| 反する者とは協力しないし、又自 主義の人が、近代にはあまりにも 分がよければ他人はどうでもよい 今日の社会は世界の経済動向に

おります。

ごあ

(1

さ 7

の総べてがスピード化された今日 よってすぐに左右されます。地球 に知れわたります。情報から経済 上何処の出来事も一瞬にして各国 |案により、小学校の総合に関して 各位の建設的御意見と御協力を得 評議員各位等を交じえて発足して おります。幼児保育と併せて関係 の研究委員会が、各小学校PTA に持ってゆきたいと考えておりま 去年の暮れ近く教育委員会の提 子供の教育効果があがる体制

持補修事業等に当てるためであり

林産物の搬出、道路整備や林道維 ーの新機購入を計画しております。

務全般を行ないます。

す。次に林構事業ではショベルカ

裏に生じる公害の問題、 を設置いたしました。文化生活の を住民課に併合し、新たに福祉課

から老人福祉対策、その他民生行

の充実を図りたいと考えておりま

有線に勝る近代技術によって通信

線による放送に変更し、

今までの

今回

役場内も今までの税務課

豊かさをもたらしました。

物質面では考えも及ばなかった

にも急速なテンポで成長をとげ と、この間は社会的にも、経済的 月が流れました。振り返ります

曲橋、公共林道の横通―百合谷線、

いたします。

御支援をお願いいたし御挨拶とい

を申しのべ、皆様の一層の御助力

以上、年頭にあたり所感の一端

始されます。他に通学用の林道七 ます。更に高度集約団地事業も開

が、この苦しい財源の中から、今、 今まで皆さまにいろく 御不便を よ本年より実施の運びとなります それぞれ二次の指定が昨年同時に 村振興事業と林業構造改善事業の 部機関と合議しながら検討されて 村では来年度の事業計画が関係上 うといわれるこのごろであります おります。本村は幸運なことに、山 合農地開発事業と併せて、いよい 決定いたしました。更に国営の総 て今度は低成長時代が続くであろ まず山振事業の第一年度には、 昨年までの高度成長も一変し 方面整備等が主な内容として考え すが、格別の御協力をお願い致し 四区集会所、中学校中心の名場連 いては御迷惑も多いことと思いま られております。 水道、交換分合農道の上川崎日浦 これらそれぞれの該当地区にお

られ、現在は全額村費で運営して

発 行 河辺村公民館 編 集 館報編集委員会 電話 河辺 17番

印刷所(有) 藤田印刷所 大洲市常磐町 ☎3273番

河辺村人口動態

(S. 51. 10月1日現)

世帯数 639 2.474

男 子 1.242 子 1.232 女

(S.50.10月現)

世帯数 666 2.368

(S.45.10月現) 718

> を離れて早くも十五年余りの歳 ざいます。なつかしいふるさと

日の如く思い出されますが、この

設立者で百合谷、神山民三郎氏、

請田重市氏は (他になけれ

故人になられた ばよいのですが)

の受委託問題、更には農業後継

者確保の問題等、かぞえきれな

り実現するものと信じています 必ず深い理解と助力、協力によ 達観して、河辺農業発展のため

このためには農政や、農耕地

や将来について語り合ったのは昨

て栗生産者組合を設立、生産計画

河辺の皆様新年おめでとうご

ついて各部落の集会や、

、巡回をし

及んでおります。

あるいは二十年後を

世帯数 2.810

河辺時間を

公民館長 の波は河辺村にも波及して建全財 倍増論に始まる高度経済成長政策 自治体の指定までも受けた。 しかしその後、池田首相の所得

地域のために手を

す。 あけましておめでとうございま 迎えたのであります。私も今日ま での人生の約半分をこの村で過ご |一〇世紀後半の第一歩の年を迎 十五周年を 構成を老令化する原因となり、 教育の為には農業を放棄して出稼 てる結果となり地域の連帯感は失 かの如く世相は青少年の夢を都会 政となって参りました。反面、昭和 在六十五才以上の老人が約十五% なわれ、青少年の都会流出は人口 をし、婦人の日稼までにもかりた 的な生活を希み、人並みの子供の を生み出したのであります。文化 元禄といわれ、消費が美徳である へく、とかりたて、過疎過密現象 事が大切だと思います。まずいろ 行して、地方自治発展に協力する

集会所で行なわれた。

した『青葉会』というグループが この地区には、生活改善を目的と

え河辺村も立村して二

地区の老人と婦人の交流会が三区

去る十二月五日、三久保、横山

とり合って

ようになった。 況となり一転して節約が叫ばれる にも経済的にも非常に不安定であ このように近年の社会は政治的 オイルショック以来、 急激な不

一昔、堀にあって羊交うをこれては役場にはなく、ある時期においては役場にはなく、ある時期においては役場に

療所等の建築は当時の村財政とし

常にその動向を知る必要があ

六校に及ぶ学校の建築、集会所、診

辺村の歩みは決して容易なもので

しました。二十五周年を迎えた河

をしめています。

寄贈していただきました。 ある。この庭ホーキは公民館にも が、その光景は本当にいいもので やかなムードの中で実施している を利用した人形づくりなどをなご る。又手づくりの庭ホーキや大豆 業の講習や料理講習を行なってい あり、普及所の指導によって農作

なくす年に 次のような事をお互いに心掛け実ではありませんか。そのためには する過疎化に歯止めをかけるため供するのが公民館です。今後、激化できますが、その機会と場所を提 互いが常に学習しなければなりま 明るく住みよい村づくりをしょう せん。テレビ、ラジオ、新聞等でも うな時代に対応していく為にはお にも三世代がしっかり手をつなぎ る所以であると思います。

おられる方々はもちろん一般の方 々も『各種会合には積極的に参加 事から実行しょうではありません です。まず誰にでもできる小さな 守って人に迷惑をかけないこと〟 出席していただくこと』、 いろな立場で団体の役職について 私も皆さんのお知恵とお力をい ″時間を

赤ケ滝

鴨河波子

大野厚子 高橋登志恵 渡辺サチ子 富永つる子

松本高雄 富永三千也

大野若子

森 誠司 山本弘志

高田国勝

河内敏子

江

宮岡はま子

崎

山崎千賀雄

栄

谷

井上高重

御協力をお願い申し上げまして年 おりますので、よろしく御指導と ただいて一生懸命努力する覚悟で

日川上川除崎崎 宮露横横出植 山 谷内中山合松 谷本恵子 徳見孝志 菊地艷江 露口恵津子

用ノ山

二宮 二四岡金福 元 福

栄野友美

安藤東洋治

榎

吉岡栄子

日其川

大 成 ご成人おめてとう 宮下定幸 中岡安美

能 寺 坂 籔 高橋登茂恵 縄田洋子 五頭京子 五頭重子 に式典が挙行された。 黒住妙子

上滝竹内 田幸 恵泉 丁 水谷秀子 松本真弓 請田八千代 要である…

めることが『みがき』になる。 もし)つけもの石が重くないと腐 父親は家庭のタクアンの重石(お るように、家庭の父親は重みが必

の言葉もある。 ″父は照り母は情のおみなえし 野火は新しい芽を育てる。

やねばし

そのまま流行語となっ 般家庭における男(父 の突き上げをくって、 ルとは関係なくとも一 てしまった。 る人」というコマーシ しかし、コマーシャ ルが一部の婦人団体 私作る人、僕食べ

の理解が実を結 と、農家の方々

今日の生産が得られたものと

感無量です。 る

に興味深く感じました。昭和三 は一億に近く、一位のしいたけ 材に次いで第三位になりその額 の中でも、第三十号「わが村を支 いますが、村当局や農協の方々 に迫りつつあるということは特 える主産物」の栗がしいたけ、木 と、栗栽培の普及と畑作振興に 十三年~三十四年頃だったと思 さ

業の団地化について」のペーパー 現のため努力啓蒙中であると聞き プランも完成しており、これの実 現在、村当局では「明日の河辺農 でいる一人です。私は職業柄そ 公民館報「かわべ」で報らせてい 守り育て、豊かな村づくりに励 ざる事態であったとも思われま と河辺もそのあおりをまぬがれ 化を助長し、静かなわがふるさ ただき一言、一句をなつかしん んでおられる皆様方のご様子は、 こうした変動のなかで故郷を 又その反面では、農村の過疎

望

お祈り申し上げ

果す役割は、ますます大きいと

ろうか?

思われます。

投資効率を考えた機械器具の

?子供達はどう受けとめているの

特に子供に対しての力はどうか

であろうか? 県下の小、中学生

心よりご冥福を

紙上をかりて衷

が、村当局や農業委員会は申 難問も山積していると思いま

までもなく、農業協同組合の

はいったいどうなっているのであ

親) と女(母親)の地位

松山市

ます。しかし、当

生産物市場選択と有利な販売な 導入、制度資金の高度の利活用

関係機関の指導 られたようでし たが、その後、 など惰農と考え く、畑に植える 時は栗山はあっ ても栗畑は少な 明日の豊かな村づくりに一層努 ど、農家と農協一丸となって、

述べておられる。

短大の曾我静雄教授は次のように を調査研究しておられる今治明徳 千二百名を対象に、これらの問題

力していただきたいと願ってお

得ましたので一報した次第です。 展を祈念いたします。 が、十五年余りを回顧してなつ かしさと皆様方の熱意に自信を 最後に皆様のご健康と、ご発 勝手なことばかり記しました

己成人 目で、父親は子供と同時に妻も育 の感想』を調べてみたが、小学生 てるつもりでいてもらいたい。 く欠点もある。その点、広い視野か ″夕食どきに父親がいないとき

ると半数以上が父親の存在を軽視 情で思い詰めたり、狭い視野で動 情という長所がある反面、鋭い感 していることになり、母親の強さ で三六%、中学生で五三%が「何と ら家庭をリードするのは父親の役 を示している。母親には優しい愛 もない」と答えている。中学生にな ところがその父親に子供は寄り

理由だが、クルマはよくみがく父 話などは話したことがないという がいても何年かするとポンコツに 親が子供をみがくのを忘れている。 うてもわからん」というのがその つかない。父親の方も子供に苦労 す。思いきった親と子の接触を深 クルマは新車のうちからいくらみ 人が三分の二を占めている。「言 なる。子供はみがくほど光りを出

いっこうに見つからな 川ばたの方を捜したが

す暗い。滝つぼの水の面からは

大きい泡、小さい泡が時をおい

がっては消える。黒ずんでいて

滝つぼの奥は落ち

全身にオゾ毛がたち始め胸がし

ては無気味な音をたてて湧き上

そういるのである。

男は「これは不思議」と思うと

話の提供者

匹ではない。三元、四匹、

見つけた。男はヤレヤ 滝のあたりでようやく と捜して、現在の鳴る いので次第に下へ下へ 木となっていた。男は

滝つぼのふちまでおりて滝つぼ

てはダンナ様に申し訳がない。

に白いへびがいる。「白いへびはコケ、小草が茂っていてその中

神の使いをする」と聞いたこと

のある男はこれは神の使いなの

しかられると思って、ようやく

をのぞくと、そこら一面にかし、

かえで等の古木が繁っていてう

となるのを覚えた。白いへびはかと思った瞬間、体が「ゾーッ」

物をになう棒に適した

などによくある木で荷

チチャの木は川ばた

を迎えて

卒業年度

総数

地元

真

る。

役場、

郵便局に各十数名の同窓

あ

なた

は 人

izsi

た子供ですけれども、一社会人と

私達は、まだまだ大人の姿をし

して、これからの人生を深い理念

こ誇りを持ち歩んでゆきたいと思

か

この成人式を一つの人生の原点と

人間観また自己のパーソナ

ていたい。

までどおり私は私らしく過ごし

める必要もないと思います。今

20歳になって………

やっぱり、うれしい。

その昔、橡谷村に土

レあったと思いながら柄鎌を腰

然のうちにえぐりとられてつぼたぎる水の力に浸かされて、自

隠し式に出席しました。

安定な自分を少し大人びた装いで

題で、囲りの人がさわいでもど

中途半端な年代からの脱皮に、不

どと、複雑な心境で迎えた成人式。

の姿を見いだすことができたらな

高橋登茂恵 も、これからの私達にとって大切 対処してゆける精神を養なうこと る問題に当面した時、スムースに また、社会のひずみの中であらゆ

リティーを拡大してゆきたいと思 | 20歳になって………

思うこと

丰

Ξ

<u>=</u>

(2) 四年生は職場実習生となる。 なるべく勉強している。

三年間で高校の学習を

権力をかさにきて、犯人をいため

つ参加し高浜港に着くなり番号

ヘルパー、婦人会から各一名づ

河辺からは老人二名、母子会

十時やっと一日の日程が終る。

二日目の朝、湯けむりのたちこ

と名札をつけ班別に分かれた。

め市民をあげての歓迎会の後、

うに言われていましたが、今日で つけたような場合がその見本のよ ば警察官が「オイこら」といった

戦前には人権じゅうりんと言え

ました。

いません

か?

名合計五百名の三世代が集ま

ら老人三百名、婦人百名、青年

外の職場実習生となる。 の自営や、地元、県内、 終え、四年生は農業等 三 六 0.0H 豐、六 上。 農業

派であるとのことで、後輩はこの

生がいるが皆まじめで、

勤務も立

侵されて

は 権

> (二泊三日)の日程で県下各地 昨年の十一月十九日~1

干

よき先輩を見習って立派な社会人

間の自分の姿を見、あらためて、 これからの人生に自分のほんとう 八生の一岐路に立って、 二十年 な課題だと思っています。

一を持ち、村民として協力してゆけ ることを心からうれしく感じる次 ともに、私達も多くの希望と理想 っていただいた方々に感謝すると そして、あたたかく成人式を祝 20歳になって……… 要はないと思うのです。要する なにもみんなに祝ってもらう必 にこんなことは本人の自覚の問



雰囲気に引き込まれてゆく自分自 そこらじゅうに漂っている大人の

た同輩の人達の姿を見るにつけ、

そして、それぞれ美しく着飾っ

20歳になって...... うのです。毎日の生活習慣も改 なにも緊張することはないと思 自覚はもちたい。 しての法律行意のできるような も、できれば私としては大人と

谷本恵子 うにもならないと思います。で

20歳になって..... なければならない。きょうから に助けてもらわなくても、支え 私たちが受け取るモノ。それは シ責任ミ 重いけど囲りの人たち

> 動向をまとめてみた。 三、どの職場でも全日 次の三点が特色である 二、農業従事者と官公 一、地元定着者の比率 今回は分校卒業生の ている。 署勤務者が多い。 制高卒者と同じ待 会人として活躍し 遇をうけ、中堅社 が非常に高い。

なのですから。でも、できれば

し、又歩まなければならない道

もう少し時間があればいいと思

いました20歳までに。

のです。誰もが歩んできた道だ

なにもきどる必要はないと思う

地元に定着近隣の高校 官公署とは役場、郵便 局、農協、森林組合等) 者数の比率である。 と地元(肱川河辺)定着 (同窓会名簿による。 前表は分校卒業者数 卒業生の三五%が

生は全日制卒業生と同

たような事についてはこのせまい ばい守ってもらえるのか、といっ

| 権が侵された場合、どのようにか | | に利りてするものがあって、もしその人 | | に利りてする。

「若い人達には、奉仕の心がな

重視され関心をもたれてきたこと

こいの部屋が欲しい

まず老人から「老人 で活発な意見がでた に指導者の方が多い

は事実です。

権問題かどうかうたがわしいもの

もちろんその中には、本当の人

もありますが、人権ということが

いるようです。

常の生活にもよくとけこんできて の第十三条で定めてあることが日 権問題だ」と言ったように、憲法 ものごとがあるとすぐ「それは人 は社会でも家庭でもちょっとした

業を主体にした分校卒業生の地元 定着率はいかに高いかがわかる。 とされているのにくらべると、農 卒の地元定着率は十%前後である 勤務ということも特色の一つであ また地元残留者の二五%が官公署 (3)

される。 昭和二、三十年代は愛大、 進学者は漸減傾向である。

志が必要である。 学しており、はっきりした目的意 た。しかし、私立短大や各種学校 全日制高校に入学するようになっ たが、教育課程も進学向きでなく 館、松山商大等に進学する人もい なり、大学進学志望の者は近隣の には分校卒業者がわずかながら入 進学、就職、自営をとわず、地域

社会に将来は貢献してほしいと願

となえつつ手を合わせて一心に めつけられるような気がした。 が手に返し給え」と念じたので 信仰する「春日大明神く、」と、 あったので気をとり直して日頃 「どうかこの渕に沈んだ鎌を我 しかし、信仰心の厚いほうで 念じ終って目を開くと、あた

渕の底から御光のさすのが見え もしなくなっていた。とたんにりは「シーン」としていて滝の音 白くほそ長い腕をまげて、スーい女が静かに髪を結っている。 滝つぼの底には衣をまとわぬ若 ツとのびた背中に黒髪がゆらい た。「ハテナ」と渕の底を見ると

けられた。

鳴る滝の

の由来(1)

ぬのでチチャの木を伐

ってこい」。といいつ

ない棒を作らねばなら

たたび下の深い渕の中に入いっ と鎌は藤のかずらに当って、ふ

大事な鎌をうさし

いなめらかな岩肌にいろいろな

っているのでよく見ると、赤黒 ている。渕の奥で白いものが光

ある。

ある日のこと、「に

いた。

という。庄屋に雇われ 居という庄屋があった

うち二うち鎌で伐るうちに「鎌

ている。

の内側を見るような格好になっ

にさしてチチャの木に登り、

とたんに鎌の柄が抜けた、そし の調子がおかしいぞ」と思った

て「コチン」と音のした下を見る

側が大きなほら貝の形によく似

そして勢きおいよく流れ出る

ていた働きのよい男が

ほどの余裕もなかった。だが美しい女体に魅せられ 』 丸橋 渡氏-次号へつづく 克橋武夫氏丸橋 渡氏

する 来性等で分校職場実習 先に卒業後も継続して 八工、八高等の卒業生 では内子、小田、長浜、 から六〇名入社。近くで 製鋼所は県下二四高校 例をあげる。この大手 身分など全日制卒業者 勤務するケースが多い 最近の傾向は職場実習 も入社。給料、身分、将 と同一である。現在職 実習中の四年生の実 職場実習先の給料、

いる。卒業証書は四年終了後交付 大変ありがたいことだと感謝して の優遇措置をしてくれている。 場実習生について各事業所が特別 分校の立場をよく理解してくれ 条件である。分校職 一たとえば、 紙面では詳しく説明できませんが「帰れては詳しく説明できませんが「帰れる」といっている。

いないか。

🦛 聞いていた以上である。 六時に

える」のテーマで話し合い、「与

午後宿舎に戻り、「老人福祉を考

短

歌

「老人や子供を粗末に扱っては 🚾

三時頃広島港に着き、バス十台

れたらと感じた。

たくさんの意見が出るようにな が出て、婦人会でもこのように い」……など。多くの意見

である。心なしかの人を見て

老人の村を視察しました。身よ

を連ねて平和記念館へ向い原場

感じがした。

による悲惨な姿の写真など話

「名誉、プライバシーを侵害さ 「騒音等で悩まされてはいない 「不当な差別を受けてはいない か。 れてはいないかい

ってもらえます。 は船田正路、力石ツヤ子の両氏) 又はもよりの人権擁護委員(村で 法務局 (この地方では大洲支局) り、一さい無料で親切に相談にの にすぐ相談して下さい。秘密を守 このようなことがあった場合、

尝

電線のちかくでのタコ上げは 危険です♪





孫三人祖母

(結婚) いつまでもお幸せに

本田 修

(用の山)

鏡の中の

静かなる顔

五十路を三

の音しず

孫二人増

親しめる人

賀状読

増えしこの年を越ゆすかに聞きて妻とわれ 戸田薫明 句

しめる人ばかりなりイプ打つ音軽快に仕 事始 角藤政千代

大中山

柿本

勲

(四八才)

(死亡)おくやみ申し上げます。

竹森均

(宮 谷)

土居八千代(日其川)

橋本淑子

(長浜町)

初日さす厨は一种前に今年 握りし笑は故郷の広き畑のみねれ 天は タコの青空畑で孫と糸を似/〜初日かがやく 7年の幸を祈りぬい朝はしずかにて 上林ヨ 佐伯きみ子

十路を三つこしたる年頭の想いめぐらす初日のひかり三人祖母と呼ばれる幸せを の雑煮炊きをりにネギをきざみつつ 関井恵美子

家族四人

シ 子 (出生) おめでとうございます。 大中山 лг лг 寺 崎〃 崎 〃 繁敏 小川哲男 薮 勇 武範 治 河本瑞穂 羽柴佳奈子 小川知春

消 息

蓋一、一、十 自五十、十、十六

剣に考えてもらいたい「道徳教育をもっと真 た老人の方々はさすが 老人の船と ともに3日間

清水マサ子 婦人会長

を見て廻るとなんだか気の毒な も寂げな表情が見え、家の囲り りの少ない孤独な老人の集まり 会と暖かい心のつながりの輪を のある歩みにより、住みよい社 ことを忘れてはならないし、老 た。私たちもやがて老人になる ということを十分に知ってほし は、物や金ばかりではできない 広げてゆきたいと痛感した。 人も婦人も青年も皆が思いやり というテーマで最後の研修課題 る言葉をかけよう」「老人福祉と 分をよく理解し、思いやりのあ なくてはならない人になって欲 い」「婦人や青年も老人のいい |日目、「老人の福祉を考える」 取り組む。老人は家庭の中で 」等々、皆んな真剣に話し合っ

飛び込み、活し合いの場をみつ もらないで皆んなの中に進んで ける」ことに一致した。 流のあり方について」話し合う。 「老人は固いからの中に閉じこ

める別府へ上陸。市長さんはじ はい」など意見が出る。
五時からは婦人と青年のつどいがあり、親のすることを見ている。親がでしれば子供はいつもでしい姿勢でいれば子供は決して見捨はしない。お互いの思いて見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いで見捨はしない。お互いの思いでものがあればうまく生活ができる」などと話し合った。
もの方はさぞかし疲れておら

・手引きつつ こ。 れるであろう。 息をつく間もない 時間割であった。